

令和7年度名古屋市主催

# 名古屋市高齢者 日常生活支援研修

通称 ちょこっとサポート/ちょこサポ



参加費  
無料

生活支援の担い手として、地域で活躍しませんか？



Q. 高齢者日常生活支援ってなに？

A.

日頃の生活のなかで「ちょっとした」お手伝いが必要な高齢者のご自宅を訪問し、掃除や洗濯、買い出し、調理等の生活支援を行います。

Q. 研修はどんな内容なの？

A.

高齢者の心身の特徴、制度の理解や家事援助の方法について、必要な知識を12時間の研修で学びます。2日間もしくは3日間に分けてご受講いただきます。



Q. 受講修了するとなにができるの？

A.

名古屋市に登録された「生活支援型訪問サービス事業所」で働くことができるようになります。ご自身の都合に合わせて短時間の勤務も可能です。修了者は就職サポートを受けられるのも魅力の一つです。

詳細は  
こちら



お問合せ先

日本福祉大学 社会福祉総合研修センター

(TEL) 052-242-3069 (FAX) 052-242-3020

(MAIL) kensyuc@ml.n-fukushi.ac.jp (受付時間) 平日10時-17時



# ちょこサポ 基本研修日程

#1～#7の中からいずれか1つの日程を選んでお申込みください。

各回定員  
40名

#1

A | 6月13日(金)・17日(火)・18日(水) ☆  
日本福祉大学 名古屋キャンパス (中区)

#2

A | 6月27日(金)・7月1日(火)・2日(水)  
日本福祉大学 中央福祉専門学校 (中区)

#3

B | 8月5日(火)・6日(水) ☆  
日本福祉大学 名古屋キャンパス (中区)

#4

B | 9月12日(金)・13日(土)  
ウインクあいち (中村区)

#5

A | 10月20日(月)・23日(木)・24日(金)  
名古屋市中小企業振興会館 (千種区)

#6

B | 11月11日(火)・12日(水) ☆  
日本福祉大学 名古屋キャンパス (中区)

#7

A | 12月1日(月)・2日(火)・3日(水) ☆  
日本福祉大学 名古屋キャンパス (中区)

1日中の時間を活用したい方はこちら!!

## A パターン日程

### タイムスケジュール

- 1日目/10時00分 - 14時45分
- 2日目/10時00分 - 16時15分
- 3日目/10時00分 - 15時15分

1連日で一気に学びたい方はこちら!!

## B パターン日程

### タイムスケジュール

- 1日目/9時30分 - 17時45分
- 2日目/9時30分 - 16時45分



★ #1, #3, #6, #7 の日程については Zoom によるオンライン受講対応をしております。

基本研修にちょこっとプラス!!

誰かに話したくなる生活術

各回定員 30~40名

## テーマ別研修

基本研修修了者は優先して受講できます

	8月23日(土)	9月26日(金)	10月4日(土)	11月17日(月)	12月23日(火)
プログラム	<b>A</b> 正しいお薬の選び方・飲み方 10時30分 - 12時00分	<b>C</b> 楽家事アドバイザーになろう! ～片づけ編～ 10時30分 - 12時00分	<b>E</b> かんたん絵手紙で人とつながろう 13時30分 - 15時00分	<b>G</b> おいしく食べてずっと健康 免疫力がアップする食事 10時30分 - 12時00分	<b>I</b> いくつ何歳になっても楽しめる旅行のかたち 13時30分 - 14時30分
会場	日本福祉大学 名古屋キャンパス (中区)	imy 会議室 (東区)	STATION Ai (昭和区)	日本福祉大学 名古屋キャンパス (中区)	今池ガスビル (千種区)

名古屋市内の小規模介護事業所・復職者の皆さまへ

基本から始める人も学びなおしたい人も

# 介護技術研修

\\ 受講生からお喜びの声をいただきました //

受講料  
無料

利用者と介護者の両方にとって安心・安全な介護を理解できました



根拠のあるケアを理解でき、自分の介護を説明できる力がつきました



利用者の気持ちを理解して介護を行うようになってくれました



## 研修概要

### 1日の講習の流れ

	午前 9:30~11:30 (座学)	午後 12:30~16:30 (演習)
① 身体介護を中心とした介護技術  全5コース (詳細は2頁目)	<p>①-1、①-2、①-3、①-4、①-5、②-1 コース共通 介護従事者としての心構え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護の仕事に必要な背景</li> <li>● 介護職の役割と介護保険制度を学ぶ</li> <li>● 社会人としての接遇・マナーを学ぶ</li> <li>● 不適切ケア、虐待・身体拘束防止、個人情報・プライバシー</li> <li>● チームケアの必要性および法令に基づくサービス提供について</li> <li>● 見守りの仕方、観察のポイント</li> </ul>	<p>①-1 体位変換・起き上がり</p> <p>①-2 歩行・移動・移乗</p> <p>①-3 食事・口腔ケア</p> <p>①-4 排泄ケア</p> <p>①-5 清潔・着替え</p> <p>②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術</p> <p>複数人の講師が手厚く指導します!</p>
② 認知症の理解とコミュニケーション技術  全2コース (詳細は2頁目)	<p>②-2 コース 事例検討から学ぶ 認知症とともに生きる方の理解</p> <p>● 1日を通して、ワークが中心のコースとなります</p>	

### 対象者

- 所在地が名古屋市にある介護保険事業所に従事する方。  
(小規模介護事業所・復職者の方優先。優先条件の詳細は別紙に記載しております。)
- 昨年度受講された方も受講可能です。(※ただし定員に空きがある場合のみ。)

## 申込方法

Webでのお申込はコチラから!

- 添付の受講申込書でFAX送信、もしくは右記のQRコードからお申し込みください。
- 各研修開催の前月20日頃までに、受講の可否をFAXにてお送りいたします。

FAX送信先 052-242-3020 (研修事務局: 日本福祉大学 社会福祉総合研修センター)

ホームページ <https://bit.ly/43mMbTt>



## 研修内容

### ①身体介護を中心とした介護技術

#### ①-1 体位変換・起き上がり

定員:36名

環境整備を整える意義から高齢者の生活空間の整え方を学びます。また、ベッド上の利用者の身体の向きを変える方法、起き上がり、安定した座位姿勢について演習を通して学びます。

#### ①-2 歩行・移動・移乗

定員:30名

身体に関する基本的な理解から転倒のリスクの高い脳血管障害やパーキンソン症候群などの利用者を想定した介護について学びます。自立支援の考えを持ちながらも安全や介護者の身体を守る視点も重視した歩行・移動・移乗に関する介護技術について演習を通して学びます。

#### ①-3 食事介助・口腔ケア

定員:36名

食事介助に必要な摂食嚥下のメカニズムから座位姿勢の保持、そして、それらの知識を踏まえた食事介助を理解します。また、窒息や誤嚥を予防するための食事時の観察の視点や対処、口腔ケアについても演習を通して学びます。

#### ①-4 排泄ケア

定員:24名

排泄行為は生活習慣や羞恥心と関連し、尊厳に影響するために配慮が必要になります。また、排泄は健康状態を把握しやすく感染リスクも高いため、排泄物の取り扱いについて対策が必要となります。基本となる排泄行為のプロセスを理解し、ポータブルトイレの介助、おむつ交換の一連の流れを学習します。

#### ①-5 清潔・着替え

定員:24名

清潔援助は人が心地よく生活する上でも感染症予防の観点からも重要になります。清潔援助の意義を踏まえて、安全で苦痛を最小限に抑えた衣類交換などの方法について演習を通して学びます。

### ②認知症の理解とコミュニケーション技術

#### ②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術

定員:40名

利用者を認知症の人ではなく、1人の「人」として尊重し、利用者寄り添った介護を学びます。認知症の種類や中核症状など疾病を理解し、認知症ケアに関する知識を身につけます。利用者の体験している世界を理解し、介護の質の向上を目指します。

#### ②-2 事例検討から学ぶ 認知症とともに生きる方の理解

定員:40名

認知症とともに生きる方、1人ひとりに合わせたコミュニケーションの取り方、関わり方から自己決定支援について、パーソン・センタード・ケアの考えに基づき、様々な事例を通して学びます。



### お問合せ

日本福祉大学 社会福祉総合研修センター(名古屋市小規模介護事業所・復職者支援研修事業委託団体)  
TEL:052-242-3069 FAX:052-242-3020 受付時間:月～金10:00～17:00(祝日、夏季休業、年末年始を除く)

① 身体介護を中心とした介護技術

日程	コース	会場	1次申込〆切
<input type="checkbox"/> 6月10日(火)	①-1 体位変換・起き上がり	日本福祉大学名古屋キャンパス	5月10日(土)
<input type="checkbox"/> 7月4日(金)	①-2 歩行・移動・移乗	ウインクあいち	6月10日(火)
<input type="checkbox"/> 7月16日(水)	①-3 食事介助・口腔ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	6月10日(火)
<input type="checkbox"/> 8月1日(金)	①-4 排泄ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	7月10日(木)
<input type="checkbox"/> 8月28日(木)	①-5 清潔・着替え	日本福祉大学中央福祉専門学校	7月10日(木)
<input type="checkbox"/> 9月12日(金)	①-1 体位変換・起き上がり	日本福祉大学名古屋キャンパス	8月10日(日)
<input type="checkbox"/> 10月2日(木)	①-2 歩行・移動・移乗	名古屋港ポートビル or 日本福祉大学名古屋キャンパス	9月10日(水)
<input type="checkbox"/> 10月18日(土)	①-3 食事介助・口腔ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	9月10日(水)
<input type="checkbox"/> 10月29日(水)	①-4 排泄ケア	日本福祉大学名古屋キャンパス	9月10日(水)
<input type="checkbox"/> 11月14日(金)	①-5 清潔・着替え	日本福祉大学中央福祉専門学校	10月10日(金)
<input type="checkbox"/> 12月2日(火)	①-2 歩行・移動・移乗	imy会議室	11月10日(月)

② 認知症の理解とコミュニケーション技術

日程	コース	会場	1次申込〆切
<input type="checkbox"/> 6月26日(木)	②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術	港湾会館	5月10日(土)
<input type="checkbox"/> 7月24日(木)	②-2 事例検討から学ぶ 認知症とともに生きる方の理解	日本福祉大学名古屋キャンパス	6月10日(火)
<input type="checkbox"/> 9月6日(土)	②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術	日本福祉大学名古屋キャンパス	8月10日(日)
<input type="checkbox"/> 9月25日(木)	②-2 事例検討から学ぶ 認知症とともに生きる方の理解	ウインクあいち	8月10日(日)
<input type="checkbox"/> 11月18日(火)	②-1 認知症の理解とコミュニケーション技術	imy会議室	10月10日(金)
<input type="checkbox"/> 12月11日(木)	②-2 事例検討から学ぶ 認知症とともに生きる方の理解	日本福祉大学名古屋キャンパス	11月10日(月)

申し込みを希望する日程の□にチェックをしてください。  
(例)

法人名		事業所名	
事業所種類※		事業所利用定員※ 名	
事業所住所※ 〒			
事業所TEL・FAX※ TEL		FAX	
メールアドレス※		担当者名※	
受講者氏名		性別	①介護に関する資格の有無
フリガナ			資格名称 ( ) 無 有
②現在の介護事業所への就職年月	③他の介護事業所での介護経験	④直前の介護事業所の退職年月	⑤介護業務 総従事年数
例)2025年1月 □年 □月	無 有 ⑥をご回答ください。 ④と⑤をご記入のうえ、⑥をご回答ください。	例)2024年11月 □年 □月	例)2年1ヶ月 □年 □月
⑥本事業について、何を見て知りましたか？当てはまる項目先頭の□に✓でチェックしてください。(複数回答OK)			
<input type="checkbox"/> 郵便送付(チラシ) <input type="checkbox"/> FAX送付(チラシ) <input type="checkbox"/> NAGOYA かいごネットHP <input type="checkbox"/> 日本福祉大学社会福祉総合研修センターHP <input type="checkbox"/> その他( )			

※2名目の申込みからは※部分の記入を省略可能

※ご記入いただいた個人情報は、本研修を適正かつ円滑に遂行するために使用し、それ以外の目的では利用いたしません。

## 研修対象者について

- 所在地が名古屋市にある介護保険事業所に従事する方が対象です。
- 応募者多数で抽選になる場合、以下の「①小規模介護事業所」又は「②復職者」欄に該当する方を優先します。

## ①小規模介護事業所の種類

以下の事業所に従事されており、介護関係業務の従事期間の総計がおおむね3年を超えない方。また、社会福祉士、介護福祉士、介護職員初任者研修課程、実務者研修、介護支援専門員、精神保健福祉士の資格を有しない方。

居宅サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問入浴介護</li> <li>●通所介護</li> <li>●通所リハビリテーション</li> <li>●特定施設入居者生活介護 (定員29名以下のものに限る。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●短期入所生活介護*</li> <li>●短期入所療養介護*</li> </ul> <p>※介護福祉施設サービス、介護保健施設サービス又は介護医療院サービスと併設されているものを除く。</p>
地域密着型サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域密着型通所介護</li> <li>●認知症対応型通所介護</li> <li>●小規模多機能型居宅介護</li> <li>●認知症対応型共同生活介護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>●地域密着型特定施設入居者生活介護</li> <li>●地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護</li> </ul>
介護予防・ 日常生活支援総合事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予防専門型通所サービス</li> <li>●ミニデイ型通所サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運動型通所サービス</li> </ul>

## ②復職者支援の対象事業所の種類

以下の事業所での従事期間がおおむね2年未満、かつ、当該従事期間前に介護関係業務の経験があるが、当該従事期間前おおむね1年間に介護関係業務に従事したことがない方。\*「介護」に関する資格の有無は問いません。

居宅サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護</li> <li>●訪問入浴介護</li> <li>●訪問看護</li> <li>●訪問リハビリテーション</li> <li>●通所介護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通所リハビリテーション</li> <li>●特定施設入居者生活介護</li> <li>●短期入所者生活介護</li> <li>●短期入所療養介護</li> </ul>
地域密着型サービス (介護予防含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夜間対応型訪問介護</li> <li>●定期巡回・随時対応型訪問介護看護</li> <li>●地域密着型通所介護</li> <li>●認知症対応型通所介護</li> <li>●小規模多機能型居宅介護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症対応型共同生活介護</li> <li>●看護小規模多機能型居宅介護</li> <li>●地域密着型特定施設入居者生活介護</li> <li>●地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護</li> </ul>
施設サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護老人福祉施設</li> <li>●介護老人保健施設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護医療院</li> </ul>
介護予防・ 日常生活支援総合事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予防専門型訪問サービス</li> <li>●生活支援型訪問サービス</li> <li>●予防専門型通所サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミニデイ型通所サービス</li> <li>●運動型通所サービス</li> </ul>

## ③その他

定員に空きがある場合は、上記①・②に該当しない方でもご受講いただけます。  
ただし、名古屋市内の介護保険事業所に従事する方に限ります。

# 令和7年度名古屋市介護保険・障害福祉サービス事業所経営セミナー

## ～ 事業協同組合の活用方法 ～

主催:名古屋市健康福祉局高齢福祉部介護保険課

障害福祉部障害者支援課

新型コロナウイルス感染症の影響等により人材の確保や育成、経営状況等、中小規模の法人を取り巻く環境がより厳しさを増しています。本セミナーでは経営状況の改善や経営管理に関する知識及び手法について学び、経営基盤の強化を目指します。また、その手法の一つとして事業協同組合について学びます。

### 1. テーマ

①これからの介護・障害福祉人材の確保、育成のあり方

②事業協同組合の活用方法等

事業協同組合とは、同じ課題を持った中小の事業者が相互扶助の精神の下、共同事業を通じて経営の効率化を図っていくものです。設立には県知事への申請と認可が必要です。

※テーマ等については変更になる場合があります。

### 2. 実施時期

令和7年度中に2回実施予定(実施時期は未確定)

### 3. 対象者

名古屋市内の介護保険事業所等または障害福祉サービス事業所等を運営する事業者の代表者(法人内の介護保険サービス部門または障害福祉サービス部門における代表者も可)

### 4. 参加費

無 料

各種感染症防止のため、下記について皆様のご理解並びにご協力をお願いします。

①研修会場では常時マスクの着用をお願いします。手消毒も徹底をお願いします。

②換気をおこなうため快適な空調とはなりませんので、防暑・防寒対策をお願いします。

③発熱や咳等、感染症が疑われる症状があった場合には、参加をご辞退いただきます。